

令和3年度 第75回千葉県中学校総合体育大会 バasketボールの部 総評

第75回千葉県中学校総合体育大会Basketボールの部は、八千代市民体育館をメイン会場として、7月28日・29日・30日の3日間で行われた。

男子のベスト4には、今シーズン負け無しで三冠を狙う八千代松陰（八千代）を筆頭に、新人戦準優勝の椿森（千葉）、辰巳台（市原）、旭二（東総）が進出した。

準決勝の八千代松陰と旭二の対戦は、序盤から八千代松陰が攻守で高さを生かし、試合を優位に展開する。旭二も④金谷の1対1を中心に積極的に攻め、厳しいディフェンスから自分たちのリズムを作ろうとするが、八千代松陰は要所で④菊谷の速攻や⑨小野の堅実なプレーで流れを渡さず、最後まで安定した得点力を発揮してリードを広げ、そのまま決勝に駒を進めた。

もう一方の辰巳台と椿森の準決勝は両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。椿森は④清水のスティールからの速攻や1対1、⑤村上のドライブなどで得点を重ねる。対する辰巳台も⑦仲田の1対1や3P、⑤長谷川のドライブ、⑭永島の1対1でぐらいつく。一進一退の攻防が続く中、椿森が④清水のアシストからの⑥井口の3Pで引き離し、接戦を制して決勝進出を決めた。

新人戦以来2度目の対戦となった八千代松陰対椿森の男子決勝戦。椿森は八千代松陰の高さに負けず、粘り強くゴール下でリバウンド争いを展開する。④清水の3Pが2連続で決まるが、八千代松陰は⑦渡邊、⑤小張を中心にゴール下で確実に加点していく。第2Q、椿森は④清水のドライブからの⑤村上の3Pが決まり、流れをつかみ持ち前のスピードある攻めを展開。対する八千代松陰もスピードで負けず、ルーズボール、リバウンドをつかみ⑧和知のドライブ、⑦渡邊の合わせで加点。椿森はゴール下に攻め込むが、素早いチェックで打てず、3Pもなかなか決まらない。八千代松陰は④菊谷の3P、⑤小張のレイアップと中外バランスの良い攻めで得点を重ね、前半を19点リードで折り返した。

第3Qは両チームともにトランジションの速く展開となる。八千代松陰は④菊谷のジャンプシュート、⑪早坂の3P、⑤小張を中心とした速攻で得点。椿森も④清水の3P、⑤村上のジャンプシュート、⑦安山の粘り強いプレーで譲らない。第4Q、椿森は八千代松陰の寄りが速い激しいディフェンスの中、⑤村上や⑦安山のドライブで食らいつく。八千代松陰は高さを生かした⑦渡邊と⑥大野のコンビネーションで加点。その後も互いにゴールをひたむきに狙う戦いであったが、八千代松陰がリードを守り、2大会連続の優勝を決めた。

両チームともめまぐるしい攻守の切り替え、激しいぶつかり合い、点差がついてもひたむきに戦う姿勢、互いをリスペクトする態度の見られる素晴らしい決勝戦であった。千葉県代表として胸を張って関東・全国大会に挑んでもらいたい。

女子のベスト4には、新人戦、選手権を制した昭和学院を地区大会で破った第1シードの市川三（市川・浦安）をはじめ、地区大会のリベンジを狙う昭和学院（市川・浦安）のほか、翔凜（君津）、習志野五（習志野）が進出した。

準決勝、市川三と習志野五の対決は、市川三が⑥米澤の速攻からの得点や⑦丸山の3Pで流れをつかむ。習志野五も⑨中川の3Pで追いつくが、力強いポストプレーやドライブ、3Pなど多彩な攻撃を見せた市川三が着実に得点を重ねて試合終了。決勝に駒を進めた。

翔凜と昭和学院の準決勝は、身長では劣る昭和学院だが、素早いパス回しで翔凜を翻弄し、④藤原の3Pやドライブで得点を重ねて試合を優勢に進める。対する翔凜も⑳大砂のドライブや㉕安田のインサイドを中心に攻めるが、お互いに厳しいディフェンスで守り合い、ロースコアの展開となった。最後まで追いつく翔凜を振り切り、昭和学院が決勝に駒を進めた。

新人戦、選手権と同一カードとなった市川三対昭和学院の決勝戦。両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。市川三は⑦丸山の3Pで先制すると、その後はスクリーンからの2対2を中心にオフェンスを展開し、⑥米澤のジャンプシュートや⑧牧野のドライブで得点を重ねる。対する昭和学院もスクリーンからオフェンスを展開し、④藤原や⑦醍醐のドライブで得点を重ねる。第2Qはお互いに激しいディフェンスを展開する。その中で昭和学院は⑦醍醐の3Pや⑤月松のドライブで応戦する。しかし、市川三は④武藤の3Pや⑥米澤、⑧牧野の力強いドライブで差を広げ、前半を30-17の市川三13点リードで折り返す。

第3Q、追いかける昭和学院はオールコートで激しいプレッシャーをかける。更にオフェンスリバウンドにも果敢に跳びつき、セカンド・サードチャンスをつかみ、④藤原、⑤月松のドライブ、⑧大城の3Pが決まり、点差を縮めていく。対する市川三は⑧牧野のドライブや⑥米澤のバスケットカウントで引き離しにかかるが、ミスも出てリズムにのれず、8点差で第3Qを終える。第4Qに入っても昭和学院はディフェンスのプレッシャーを緩めずに相手のミスを誘い出し、⑫石井のゴール下や⑦醍醐、④藤原のドライブで2点差まで詰め寄り、市川三の背中をとらえる。しかし、市川三は落ち着いたボール運びから⑥米澤が着実にシュートを沈め、最後まで試合をコントロールし勝利を収めた。両チームの健闘をたたえとともに、関東大会での活躍を期待したい。

男女ともに上位2校は、8月9日から茨城県ひたちなか市で開催される関東大会に出場する。関東大会では上位4校が全国大会出場の権利を得られる。激戦区関東を勝ち抜き、全国大会への切符を手にしてほしい。なお、関東大会に関する詳細は、8月1日に組合せ会議終了後、千葉県ジュニアバスケットボール連盟のウェブサイトに掲載を予定している。

最後に、新型コロナウイルス感染症予防に万全を期して大会準備・運営をくださった八千代支部、柏支部、山武支部、印旛支部、千葉支部、市川・浦安支部の関係者の皆様、駐車場の案内整理をはじめ、係、TOなどに御協力いただき、円滑に大会を運営していただいたことに、連盟一同感謝申し上げます。

【男 子】

優 勝 八千代松陰中学校（八千代） **関東大会出場**
準優勝 千葉市立椿森中学校（千 葉） **関東大会出場**
第3位 旭市立第二中学校（東 総）
市原市立辰巳台中学校（市 原）

【女 子】

優 勝 市川市立第三中学校（市川・浦安） **関東大会出場**
準優勝 昭和学院中学校（市川・浦安） **関東大会出場**
第3位 習志野市立第五中学校（習志野）
翔 凜 中 学 校（君 津）